

一般質問 ～問い、答え、動き出す。～

9人の議員が坂祝町の現在と未来について、一般質問を行いました。

三品 美紀 議員

- 小中学校における情報モラル教育について
- テストを受けられない生徒への対応について
- これからの教育の方向性について



動画QRコード

【質問】

SNS犯罪が深刻化する中、坂祝町の情報モラル教育の現状を問う。e-ネットキャラバン等、専門資格を持つ職員の知見を教育現場に活用する考えはないか。また、タブレット不具合への対応の仕組みについても確認します。テスト未受験生徒の内申点評価方法を問い、別室受験・小テスト等の柔軟な評価体制の構築を提案します。

不登校・自殺者数の増加を受け、坂祝町の教育方針を問う。異学年集団の学び合いへの見解と則武小学校の視察を提案します。

【答弁要旨】

情報モラル教育は中学校でe-ネットキャラバンを活用し、KDDIの社員が講師として講座を開催。保護者にも参加を呼びかけた。タブレット不具合は学校から保守業者への連絡体制で対応しています。テスト欠席生徒には別室受験・小テスト・レポート等の多面的評価で対応。三者合意のもと「坂祝町らしい評価の形」を追求します。異学年学び合いは行事・総合的な学習の時間で実施。則武小学校は目的意識を共有した上で研究の一環として視察を検討します。

林 俊太 議員

- 職員の働き方改革と「開庁時間短縮」について



動画QRコード

【質問】

人口減少社会において住民サービスの質を維持するため、多額のシステム投資を待つのではなく「予算ゼロ」で即効性のある開庁時間短縮を先行実施することを提言します。

既に成果を上げている岐阜県内先行自治体の事例を引き合いに、現在進められている調査状況を問い、早期の試行実施と三者（住民・職員・行政）が恩恵を受ける改革を求めます。

【答弁要旨】

時間外勤務は月10時間を取り決め、4.5時間超は「時間外勤務命令の要因・整理」を提出し、必要最小限にする対策をしています。坂祝町職員の服務規程第10条に規定されているとおり、時間外勤務は事前に所属長の許可を得て行う事としております。来客者数の調査では開庁前後合計が全来客の3%未満であることが判明しました。これらを踏まえ、当町も令和8年度上半期までに開庁時間見直しの方針を決定し議会に報告する予定です。

佐藤 猛 議員

- 令和8年度当初予算編成の基本方針について



動画QRコード

【質問】

人口減少や物価高騰が続く中、令和8年度予算における重点施策と編成の基本方針は。

経常収支比率が高水準にある要因と、義務的経費の今後の見通しは。

財政の硬直化による住民サービスへの影響と、今後の町政運営のあり方は。

【答弁要旨】

令和8年度予算は「福祉・子育て」「防災・インフラ」「稼ぐ行政」を柱に編成されました。避難所への非常用電源や移動式クーラー設置など安全確保を最優先としつつ、ふるさと納税等の自主財源確保に注力します。経常収支比率の高止まりに対し、定住自立圏構想事業による広域連携や事務の見直しでコストを抑制していきます。既存事業の廃止・統合を徹底し、限られた財源を効果的な施策へ「選択と集中」させることで、町民と一丸となって持続可能なまちづくりを推進します。

宮内 聰樹 議員

- 独居高齢者の孤独死の防止について
- スポーツレクリエーションフェスティバルへの中高生ボランティア参加について
- 「坂祝の子たちが将来にわたって幸せに暮らしていける力」について



動画QRコード

【質問】

見守りネットワーク協力事業者による具体的な通報ガイドラインの現況と強化策、及び緊急通報装置の普及拡大に向けた受益者負担モデルの検討は。

中学生の要望を受け、地域交流と教育的意義の観点からスポレクフェスへの中高生ボランティア導入を検討してほしい。

教育長の答弁にある「幸せに暮らしていける力」の現在の進捗と方針、若者が町とつながる機会の創出について。

【答弁要旨】

町内の独居高齢者474人に対し、協力事業者と連携した「迷わず連絡」できる見守り体制の質を高めます。緊急通報装置の対象拡大は民間サービスの普及により行わず、既存体制の最適化を優先します。

中高生のボランティア受け入れを柔軟に検討し、イベント等の企画段階から若者が参画できる「自立と共生」の場を創出。進学や就職後も町とのつながりを維持する仕組みを重要な経営戦略と位置づけ、若者が地域コミュニティに入りやすい受け皿作りで将来のUターンを促進します。

三品 幸範 議員

- 坂祝財政の現状と未来の見通し



動画QRコード

【質問】

物価高騰の中、坂祝町の財政現状確認と将来の見通し、歳入確保策及び財政健全化に向けた具体的な方向について。

企業誘致について専門のプロジェクトチームを設置し、より明確な数値目標と期限を定めた具体的な取り組みは。

【答弁要旨】

物件費・扶助費の増加が続き、経常収支比率はR6年89.1%。ふるさと納税強化・税徴収強化・使用料の見直し等で歳入確保を図る。公共施設は予防保全型管理で対応していきます。企業誘致は方向性として重要だが、基金取り崩しによる運営が続く中、今後の学校建設も控えており、まず財政健全化を優先。情報収集など財政負担の少ない土台づくりから段階的に進めます。

兼松 雄司 議員

- 地域包括支援センターを拠点とした高齢者支援体制の課題と今後について



動画QRコード

【質問】

認知症の方の行動特性に伴う地域課題と見守り体制の充実、後見制度の活用増加に伴う支援体制の整備、ケアマネジャーの業務負担と人材確保、地域資源の活用や自治会との連携、生活保護制度の周知についてお聞きします。

【答弁要旨】

町では地域包括支援センターを中心に、高齢者の見守りと支援を強化しています。認知症対応では、徘徊等の初期課題に対し住民や民生委員と連携したネットワーク構築やサポーター育成を推進。独居高齢者の増加に伴う後見制度相談には、専門機関と協力し対応力を高めています。

介護人材の確保策として、町内での新規採用者に対し資格更新費用の補助を新設し、ケアマネジャーの負担軽減を図ります。また、孤立や困窮世帯、自治会未加入者へはアウトリーチによる実態把握を徹底。生活保護申請が増加傾向にある高齢外国人や無年金者に対しても、関係機関と連携した相談体制を構築し、誰もが安心して暮らせる支援体制を整えていきます。



林 重光 議員

●ネーミングライツの成果と今後について

【質問】

ネーミングライツの取り組みが一定の浸透を見せている中、今後は道路や歩道橋、駅前トイレといった公共空間への命名権導入の展望は。

参加企業のロゴやメッセージを広報紙や封筒などに掲載するイメージはあるか。また参加企業と連携したイベント(地域ビジネスコミュニティ)の開催は。

【答弁要旨】

現在スポーツドーム等4施設で3社と契約中。命名権の拡大は各施設の管理担当課が主体となって検討する方針です。

企業ロゴ等の広報紙掲載は有料(広告掲載要綱に基づく)で対応可能。連携イベントは企業側からの提案があれば一緒に検討を進めます。



動画QRコード



松田 和樹 議員

●町民ふれあいプール跡地について

【質問】

当面の利用方法は。費用に見合った使い方ができているのか。閉鎖について検討されないのか。期限を設けての課題の解決は。

【答弁要旨】

坂祝スポーツクラブに利用していただきます。年間およそ230万円程度を要しており、現在の利用方法を踏まえると費用対効果の面では十分とは言えません。現時点では具体的な協議は行っておりませんが、関係団体とも十分に協議を図りつつ今後のあり方を検討してまいります。概ね3年を一つの目処として利活用の方向性についての検討を進めてまいりたいと思います。



動画QRコード



松田 賢治 議員

- こどもの行方不明(ミッシングチルドレン) 対策について
- 「こどもの命を守る」取り組みについて
- 生徒指導提要におけるこどもの権利尊重とウェルビーイングを柱とした生徒指導について

【質問】

居所不明児童への対応強化と、具体的に視覚的な危険防止対策を学校教育や地域活動の中で展開できないか。

SOS早期把握の具体策、大人がSOSを適切に受け止める「応答性」を高めるための訓練・相談体制の強化は。

生徒指導提要に照らした校則整合性、管理職への具体的指導・研修の取り組み、生徒指導の転換がもたらす成果の見通しについて。

【答弁要旨】

7日連続欠席報告ルールを徹底し、無断欠席があれば毎日連絡・家庭訪問を実施。岐阜県警による防犯教室や命を守る訓練を継続します。

SOS出し方教育を小中学校で年1回以上実施。令和8年10月の校務支援システム更新で健康観察システムを導入し、ICTを活用した早期発見体制を構築します。

校則の公開・不断の見直し・対話による合意の3点を指導。重層的支援構造に基づき担任一人が抱え込まないチーム対応体制を構築しています。



動画QRコード

【次回】令和8年第2回定例会(6月議会)

※詳細は町ホームページ等でお知らせします。

定例議会は年4回(3月、6月、9月、12月)開かれます。臨時議会は必要に応じて開かれます。

【編集後記】広報さかほぎと議会だよりが、今号から一冊になりました。これまで別々にお届けしていた二つの紙面を統合することで、より多くの皆さんに議会の活動を知っていただける機会が生まれると考えています。議会は皆さんの声を町政に届ける大切な場所です。今後も坂祝町の未来のために、議員一同、全力で取り組んでまいります。ご意見・ご感想をお待ちしています。

(広報編集委員会)◆委員長 宮内樹樹 ◆副委員長 林 俊太 ◆委員 松田和樹 ◆委員 三品美紀

傍聴お待ちしております。



議長：竹内浩一